

# 看護学科長挨拶

# 新実絹代

- ◆看護学科の教育概要
- ◆後期の看護学科、各学年の教育
- ◆看護専門職を目指す学生の取り組み
  - ・自律性
  - ・責務
  - ・倫理
- ◆看護大学生の基本的態度の育成



近代看護の先駆者  
F.Nightingale( 1910 年90歳没)

# 看護学科の教育目的

看護師として必要な専門的知識と実践能力を身につけ、他の医療関係職種と連携・協働して、地域社会の医療体制の整備と充実に寄与することのできる人材を育成する。

# ディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与の方針) カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施方針)

## 1. 創造的思考力

- 看護学分野の基本的知識、技術を応用・発展させ  
問題解決でき新たな価値を創造
- 専門職としての責任を自覚し自律的に課題解決

## 2. チームワーク

- チーム医療の中で連携、協働し看護の役割を果たす
- 看護師としての職業倫理を理解し実践

## 3. 基礎学力

- 専門分野における基本的知識、技術、態度の修得
- 看護師としての素養として人間、社会、多様な文化の理解

# 看護学科教育 4つの特徴

1. 拡大する在宅医療に対応できる

看護師の養成

2. 災害時に対応できる看護師の養成

3. 保健医療福祉チームの連携に寄与できる

看護師の養成

4. ICT(情報通信技術)を使いこなせる

看護師の養成

# 看護学教育課程の特徴と必要な取り組み

- ・看護専門職となるための知識・技術・態度を総合的に修得
  - ・卒業必要単位数が多い（124単位）
  - ・臨地実習がカリキュラムの20%を占める
  - ・積み上げ方式の科目立てとなっている
  - ・全ての科目が看護専門職を目指す学生に必要な科目である
- ⇒・欠席はしない。（履修範囲の欠席であっても理解不足となる）
- ・事前・事後学習が重要となり、毎日の学習習慣が必要
  - ・暗記中心から理解中心の学習への転換
  - ・自己の意見や考えの表現が重要

# 後期に向けた学科の取り組み

- **新型コロナ感染禍で感染防止を徹底した中での履修となる。**
  - ① **大学としての感染防止対策**
  - ② **看護大学生の自覚のもと各自が、ガイドライン、ルールを徹底**
- **授業：学年間で調整しオンラインと対面の混合で実施**
- **臨地実習：感染防止を徹底した上で受け入れ施設の状況により実施**
- **コロナワクチン予防接種は、90%の学生が接種を受けた**
- **2022年から新カリキュラムが開始**  
⇒各自が現行カリキュラムを確実に履修

# 後期に向けた各学年の教育

- 1年次生： 基礎看護学Ⅰ実習を終え、後期は専門基礎、専門科目多くなる  
各専門領域の看護学を学ぶ基礎づくりの学年
- 2年次生： 基礎看護学Ⅱ実習(2週間)、看護学の専門科目が多くなる  
各専門看護学領域に発展させるための知識・技術・態度の修得
- 3年次生： 9月～2月の長期臨地実習開始  
看護専門職としての看護実践力、看護に対する考えや姿勢の深化
- 4年次生： 進路決定、看護研究発表、国家試験受験準備  
看護大学生として集大成の学期  
社会人、新卒看護師になる自覚と準備の学期

# 看護専門職を目指す学生の取り組み

## 専門職としての規準(デービス)

- ① 科学的基盤をもっていること
- ② サービス指向であること
- ③ 倫理規定があること
- ④ 専門職組織があること
- ⑤ 研究を実施すること
- ⑥ 自律性を有すること

## 看護専門職として

- ① 専門職としての実践の基盤となる知識体系と教育体系
- ② 社会の安寧を目指したサービスの貢献
- ③ 価値、信念、責務、自律性、倫理的価値



# 看護専門職を目指す学生の取り組み

- 自律性 (autonomy)

自ら規範をつくりそれに従って自分を律すること

- 進んで何かしようと思う気持ち
- リスクを抱えること
- 自己決定と自己規制

- 責務 (accountability)

自らの行動を説明し、どう応えるか

自らの実践に責任をとる姿勢が求められる

# 看護専門職を目指す学生の取り組み：倫理的判断行動

## ・医療領域こそ倫理が最も問われる分野

人の生死と健康問題が直接かかわってくる

医療職一人一人の判断や行為⇒患者の生死・健康に関わってくる

## ・看護倫理を学修する目的

看護職者や看護職を目指す学生が、患者や利用者にとって、何が善いことであるか、悪いことを避けるためにどうすれば良いかを考える手がかりを得る。

## ・倫理的判断・行動は日常から培われる

道徳的思考(どの行動をとるかを考える)

⇒**理性**を働かせ、人間的に考えることが大切

⇒道徳的価値を高める(命、健康、人生観など人としての根源的に大切なもの)

# 看護大学生としての基本的態度の育成

	1年次	2年次	3年次	4年次
責任役割意識	看護大学生としての自覚がもてる。	看護大学生としての責任・役割を意識した行動がとれる。	看護大学生としての責任・役割行動がとれる。	看護専門職の責任・役割行動がとれる。
セルフマネジメント	健康管理ができ履修に支障をきたさない。	ルール、約束を遵守し、責任ある行動がとれる。	ストレスコーピングをポジティブに行い物事に取り組める。	看護職に必要な自己コントロールができる。
コミュニケーション	対人的マナーの基本に基づいた行動がとれる。	アウトプットコミュニケーション、インプットコミュニケーションができる。	学生間、関係者間で情報共有し、目的に沿った意見交換ができる。	学生間、関係者間での連携、協調ができ相互啓発ができる。
看護観・倫理観	看護の機能や役割が明確にできる。	看護師に必要な資質や能力が明確にできる。	看護実践における看護職の役割・責任が明確にできる。	目ざす看護師像、自己のキャリア設計が明確にできる。

- ・**看護の仕事は、  
「人々が健康的な生活を営み、その人らしく生きることを支援すること」です。**
- ・**専門的な知識・技術とともに、他者を思いやる気持ちや優しさ等  
人間力が求められます。**
- ・**4年間の学習は、ハードルが高く努力を要しますが、それをクリアされた時には、大きく成長されることと思います。**
- ・**保護者の皆様の暖かくも厳しいご支援をお願い致します**

